

土木学会 コンクリート委員会
平成 22 年度 第 2 回 規準関連小委員会 議事録

1. 日 時：平成 22 年 11 月 10 日（水）12：00～12：50
2. 場 所：土木学会 F 会議室
3. 出席者：鎌田敏郎（委員長）、上野敦（幹事長）、辻本一志、浦野真次、森寛晃（小川洋一委員後任）、片平博、加藤絵万、川西貴士、坂本淳、鶴田浩章、寺村悟、中村雅之、野島昭二、原田修輔、久田真、堀越直樹、三谷芳弘、皆川浩、横関康祐、橋本親典（記録） *敬称略
4. 配布資料：
 - 2-0 平成 22 年度第 2 回規準関連小委員会 議事次第
 - 2-1 平成 22 年度第 1 回規準関連小委員会 議事録（案）＜2010 年 5 月 6 日開催＞
 - 2-2 主査幹事会会議メモ＜2010 年 7 月 13 日開催＞
 - 2-3 委員構成（案）
 - 2-4 講習会プログラム
 - 2-5 改訂資料（案）
 - 2-6 2010 年制定規準編

5. 議事

(1) 委員長挨拶

鎌田委員長より、2010 年制定規準編が予定通り 11 月 10 日に発刊できたことに対するお礼、ならびに 2012 年制定規準編発行に向けての活動に対するお願いの挨拶がなされた。2012 年制定規準編発行に関しては、2010 年制定版が 4kg になり JIS 編が膨大になった。あまり使用されていない JIS 規準の削除を実施するための、削除理由のための調査活動をお願いしたい旨の説明がなされた。

(2) 議事録確認

鎌田委員長から、辻本委員作成の前回議事録（案）の確認が行われ、承認された。なお、加筆・修正がある場合は、上野幹事長にメール等で連絡することが確認された。上野幹事長から、7 月 13 日に開催された主査幹事会の会議メモについて説明がなされた。主査幹事会では、内容の審議ではなく、フォントや最終原稿の形式について議論した。ただし、今回の規準編では、うまくできない部分があり、2012 年制定の課題とした。

(3) 委員交代について

鎌田委員長から、配布資料 2-3 を用いて、小川委員の後任委員として森寛晃氏を就任させたいとの発議があり、異議なく了承された。次回のコンクリート常任委員会において委員交代を発議し、正式に承認されることになる、そのあと、小川委員の代理出席した森氏から簡単な自己紹介がなされた。

今年度末で委員交代を希望する委員は、次回規準関連小委員会で、後任委員（案）を議題として提案していただきたいとの説明がなされた。会議の席上、委員交代の希望調査をした範囲では、橋本委員と浦野委員が挙手した。

(4) 講習会について

講習会の運営について議論した。以下に決定した内容を記す。

- ・講習会の総合司会は、浦野委員にお願いする。
- ・(3)のフレッシュコンクリート WG の講演のあとに、10 分程度の休憩を入れる。
- ・改訂資料（案）を講習会参加者に配布する。

・各講師の ppt ファイルは、本委員会委員の共有とすることとし、村木さんから psf ファイルにして配信していただく。(その後、ppt ファイル一式は、上野幹事長から各WG 主査へメールで配信し、さらにWG 主査からWG メンバーへ転送いただく方法に変更した。)

(5) 改訂資料（案）と JCI コンクリート工学誌への掲載原稿について

鎌田委員長および上野幹事長から、配布資料 2-5 の改訂資料（案）をベースとした原稿を JCI コンクリート工学 4 月号に解説記事として掲載したく、委員長と幹事長 2 名の連名としたいとの申し出があり、異議なく了承された。配布資料 2-5 については 11 月中に、また、JCI コンクリート工学誌の原稿（JCI 事務局には 12/24 日締切）については、11 月下旬に上野幹事長より原稿案を委員にメールで送付するので、意見をいただきたいとの説明がなされた。英文概要については、3/15 日締切りなので、それまでには各委員に配信する予定である。英文概要についても修正意見をお願いしたいとの説明がなされた。配布資料 2-5 は、委員のメール審議の後、規準関連小委員会の HP に upload することが異議なく了承された。

(6) 土木学会規準の原稿修正作業方法について

皆川委員から、現在の原稿修正作業方法の問題点について簡単に説明が行われた。原稿の word ファイルから Tex ファイルへの変換があるため、Tex の版下原稿の最終確認ができない。Text と図表のみを業者に渡したほうが間違いが少ない。この件については、2012 年制定版作成の申し送り事項として、次回の規準関連小委員会で検討することになった。(皆川委員には、次回、原稿修正作業方法に関する簡単なメモをご提示いただくこととした。)

(7) その他・今後の活動ほか

久田委員から、土木学会規準の全体の構成（フレームワーク）に関する見直しの必要性について発言があった。性能照査に資する規準体系を考えた場合、現行の規準編の構成は古い（仕様規定遵守型である）。今後の規準編のフレームワークをどうするのかということをも WG を設けて議論すべきではないのか。次回の規準関連小委員会で検討することとし、久田委員に話題提供していただくことになった。

(8) 第 3 回委員会開催

日時：平成 23 年 1 月 25 日（火）13:00～15:00

場所：土木学会（予定）

以上